

# 「調べて、広めて、市民を守る。」

## 「たばこの吸殻」 どうしていますか？

### 「火事を知る！」

#### 火災事例

##### CASE-1

住宅の一室で、居住者がたばこの吸殻をビニール袋に入れてゴミ箱に捨てたところ、火種が残っていたためビニール袋に着火して、室内が全部焼けてしまいました。

##### CASE-2

共同住宅のベランダで、居住者がたばこを吸い、灰皿に吸殻を捨てたところ、火種が残っていたため外気などが影響して周囲に置いてあった雑品に着火し壁などが焼けました。



#### 火災になるまで

たばこの火種は、消したつもりでも完全に消火されていないことがあり、灰皿などから上がる煙に気づき、慌ててもう一度消した経験はありませんか？

たばこを吸ったあと、「消す」という行動は習慣になっていますが、完全消火の確認を怠っていることがあります。

このような吸殻をそのまま安易にごみ箱へ捨てると、ごみ箱内のごみに着火して炎が上がり、周りの物へ燃え広がります。ベランダなどでは、吸殻の火種が風にあおられ再燃し、火種が周囲の雑品に飛散して着火します。

「たばこの不始末」による再燃実験



わずか数分で炎が上がります！

### 「身を守る！」



たばこの火は、水に濡らすなど、完全に消火してから捨てましょう！



ベランダなどでは、風の影響で火種や吸殻が飛ばないように管理しましょう！



大阪市消防局 予防課(調査鑑識)  
<<<Survey & Investigation>>>